

光の市+キ

林 村 園 岡 山 大

# 光市医師会報

平成16年7月号

No. 364



光市医師会

<http://www.yamaguchi.med.or.jp/users/hikarishi/isikaihp/hikari.htm>

## いいたい放談

### チャボの話

大田病院 藤村 朴

約20年以上になりますか、鶏の同好会があるとの話があり、本屋の鶏専門書をあさった所、日本愛玩鶏協会というのが目にとまり、早速この会に連絡したところすぐに返事があり、「ぜひ入会して下さい」。これに気をよくして入会、その頃群馬県館林市でその会の懇親会があり、遠路出席してみたところ、その地方の方々と親しく交わり、鶏の話も勿論であるが、その辺の穴場も教えてもらい、館林にある「ぶんぶく茶釜」ゆかりの茂林寺を訪ねたり、会員の世話役であり、お寺の住職の宅に泊まり、楽しい一日をすごしました。この時の知人とは今に付き合い、特に宮城県の方は年末になると、自家用の米や当地の名物などを送って戴いています。お返しにこちらからも送りましたが、夏みかんの砂糖づけなどは特に喜ばれています。東北では、柑橘類は育たないのだそうです。

さて、鶏の好みには土地柄があり、東北方面では、長鳴きどり、「声良」（冠が小さく大型「唐丸」（大型で全身黒色、天照大神の時鳴いた鶏？）が珍重され、鳴き声の長さは15秒以上もある。九州地方では、威風堂々としたシャモ系統が好まれ、特に鹿児島方面では、「薩摩鶏」という厳ついのがあり、昔盛んに闘鶏に使われ、特に足に剣をつけて戦わせたといわれる。近畿地方で、「小国」と言うのが有る、この鶏は遣唐使が中国から持ち帰ったという話もあり、平安時代に盛んに飼われ鳥羽僧正の宮中蹴合いの絵に出てくる。私も一度飼ったことも有りますが、なかなか優美で、黒い尾の長さは約1m、養羽は地についている。尾長鶏の原型とも言われています。尾長鶏といえば、土佐の特産で世界中有名ですが、土佐ではこの他、「土佐ちび」（軍鶏のフライ級）「小地鶏」「東天紅」（これも長鳴きで20秒以上）「鶉尾」（チャボで尾が無い）がある。北九州では、「小軍鶏」（軍鶏がヘビー級ならフライ級でチャボ位）が珍重され、見た目は可愛いわりに肩をいからせ迫力万点、この地方の気質にピッタリ。最近の品評会の主流となっています。

さて私のチャボ（矮鶏）の話です。光市浅江土井方面を歩いていた所、鯉の養殖場と共に多数のチャボが飼われていて、その可愛らしさに子供達も興味をもち、早速その家の人をお願いして雛を一番分けてもらいました。「ごんた」「ちよ」と名づけて。特に「ごんた」は抱えたらびこびこことこちらの顔を見ながら喋っている、成鶏になっても名を呼ぶと走り寄ってきます。庭で飼っていたので、家族の一員でありました。一寸話しはそれですが、当時家には犬の「ボギー」（シエットランドコリー）、猫の「ミミ」

（ロシアブルーまがい）、家鴨の「グーヒー」、孔雀の「サタン」「デビル」夫婦などで特に「ボギー」と「グーヒー」はとくに仲がよく、一緒に寝止まりして犬小屋の中はあひるの卵でゴロゴロしていたりした。ボギーがいたときはチャボも猫などに盗られることもなく、庭に放して飼い、平穩に暮らしていました。KRYも取材にきてテレビにも放映されたこともあり、ところがそれを見ていたのか間もなく誰かにボギーをとられ悔しい思いをしました。

あとで聞いた話ですが、その頃シェルティーばかり狙って盗るグループがあったといえます。一時は、犬、猫、鶏、家鴨、孔雀と居たわけで、子供が学校で、この話をクラスの自己紹介でしたところ、急に皆がゲラゲラ笑い出したそうです。



周南チャボ(五色)

さて、今度はチャボについてのうんちくです。その前に、日本鶏の天然記念物が18種あります。長くなりますが、種名をあげますと、長尾鶏、養曳、小国、地鶏、蜀丸、声良、東天紅、チャボ各種、名古屋種、三河種、土佐九斤、シャモ、烏骨鶏、黒柏、比内鶏、薩摩鶏、小シャモ、養曳チャボ。チャボの内種は約20種、以下詳しく言ってもピンとこないかもしれないので、思いつくままに挙げる事にします。

即ち体軀矮小、極めて短脚で、美術的で挙動極めて可愛らしい。

標準体重；雄650g、雌600g、両手で抱えると丁度一升樹位の大きさです。白色レグホン等が2.5Kg位ですからやはり相当小型です。卵の大きさは、ピンポン玉くらい、ひよこは親指位です。脚は短いほど良く見た目には、立っただけでも座っている様にみえます。

○桂チャボ；腹と背が白で尾が黒、雄は冠が体の割に大きく頭でっかちに見える、主尾羽は直立している、胸はプクンとよく張りつまり鶏のデホルメ、日本特産であります。チャボの内種ではベストの地位。チャボの王様です。

○黒チャボ；全身黒、大きさ、スタイルは、桂チャボと同じ。

○その他；狸々（全身茶色、）源平、鈴波、浅黄、逆毛、糸毛（兎の様な毛）、碁石（チャボの中では一番小さい、）、達磨チャボ（冠がべらぼーに大きい）赤笹、黄笹、白笹、等々です。

○私が今から作り出しているチャボ；五色チャボ（頸が白く、胸が黒、鞍羽は柿色、尾は黒、直立している。このチャボは全国でも見かけません）先日、日本愛玩鶏協会にこのの写真を送ったところ、全国でもこの種は逸品とのお墨付きを戴きました。もう一つ黄笹チャボ（頸がオレンジ色）もいます。最近テレビで東南アジアで見かける野鶏や地鶏はこの2種の色です。考えてみれば、この2種の色が気に入っていた様です。

かくして、だれ彼出会う度に、チャボや鶏のレッテルを貼られてしまい・・・

◎チャボを飼って良かったこと；

全国にとんでもない友人が出来たこと、平成天皇の友人である大学教授、もと宮内庁の侍従の医学博士、とびの親方、タクシーの運転手、競馬の馬主会の会長、バンドマン、開発会社社長等々。

椎間板ヘルニア術後のリハビリに役立ったこと、毎日水替え、掃除、餌やり等はしゃがみ立ち上がりが多く、術後の回復が早かった。朝は6時半から動き始め、朝食前に1時間、夕方1時間これをやる、雨風天気に関係なくである。自分の健康のためになっています。

◎辛いこと；

忙しいとき、留守をしなければならないとき、有料で人に世話をたのまなくてはならないこと。なお、生き物ですから健康管理に気をつけることも大切で、鶏インフルエンザについては家畜保健所から2度電話がありました。またワクチンもいろいろ接種しています。

◎人間、動物を飼っているときが一番元気だと思っています。特に鶏は古くから飼っている家畜。野生の動物を飼いたい（私もそうですが）人もいらっしゃいますが、本来野生動物は自然界のもので、人に飼われるのが好きでも有りませぬ。それはあまりにも可愛そう、鶏は犬猫共々人と暮らすためにある。皆さんおすすめで、可愛いですよ！

◎チャボはなぜ短脚が良いのですかとよく聞かれます。デホルメですよ・・・つまり不恰好なのが珍重されます。金魚のランチュウ、犬のブルドッグ、狆、猫のペルシャ等々人間の勝手な好みで出来た産物ですな。漫画チックなのがとにかく好きなんです。



※；参考文献

天然記念物チャボー深川景義著  
鶏の審査標準一日本家禽会



### 今月の医師会長

- 7月 1日(木) 三井小学校保健委員会  
山口県内科医会理事会 (山口)
- 7日(水) 参議院選挙遊説帯同
- 8日(木) 産業医職場訪問  
介護認定審査会  
編集委員会
- 9日(金) 理事会
- 13日(火) 医師連盟執行委員会 (山口)
- 15日(木) 東洋医学会地方会 (周南)
- 17日(土) 納涼懇親会 (シエルデマール)
- 21日(水) 健康づくり推進協議会 (アイパーク)
- 22日(木) 7月度講演会 並 例会
- 27日(火) 高塚人志先生講演会 (勤労福祉会館)
- 30日(金)
- 31日(土)

## 7月の医師会活動

I. 9(金) 会報編集委員会	医師会事務局
II. 13(火) 定例理事会	医師会事務局
III. 21(水) 納涼懇親会	シエルディマーレ
IV. 27(火) 学術講演会、例会	光市勤労者総合福祉センター
V. 30(金) 高塚人志先生講演会 (第1部)	光市勤労者総合福祉センター
31(土) " (第2部)	"

## I. 会報編集委員会

日時：平成16年7月9日(金) 19時30分～

場所：光市医師会事務局

出席者：河村・佃・兼清・道上

内容：①諸処の添削行う

②予算との関係で毎号12頁とし、DPTしたPDFファイルを印刷所に回す事とする。

## II. 定例理事会

日時：平成16年7月13日(火) 19時30分～

場所：光市医師会事務局

議題：

## I. 報告事項

1. 地域支援病院審議委員会 (周南) 6/10 (河村会長)
2. 広域予防接種運営協議会 (山口) 6/10 (平岡理事)
3. 郡市成人高齢者担当理事協議会 (山口) 6/17 (丸岩理事)
4. 郡市医師会長会議他 (山口) 6/19 (河村会長)
5. 平成16年度光市学校保健会総会 6/24 (平岡理事)
6. 周東地域産業保健センター運営協議会 6/24 (平岡理事)
7. がん予防重点健康教育及びがん検診に関する方針の一部改正について6/17 (丸岩理事)

## II. 協議・承認事項

1. 光市立病院検査料の件・・・検査料を100%としたい
2. 人間ドックの件
3. 納涼懇親会 シエロ・ディマーレ
4. 秋のレクリエーション アンケート調査

## 資料①地域医療支援病院審議委員会(徳山医師会病院)

日時：平成16年6月10日(木)午後7時

場所：雷門(周南市)

(議題)

1. 医療機能分化推進事業について  
かかりつけ医の定着・患者紹介率の向上・平均在院日数の短縮をめざす。
2. 歯科診療室の運用状況  
受診者数10～20名/月 利用医師4～9名/月
3. 回復期リハビリテーション病棟の現況：利用率 36.7人(病床数50床)
4. 周南地域リハビリテーション活動状況  
作業部会 4回 スタッフ研修会 3回

## 資料②平成16年度 第1回 広域予防接種運営協議会

日時：平成16年6月10日(木)

場所：山口県医師会6階会議室

(協議事項)

1. 平成16年度市町村別広域予防接種委託料金について  
三種混合、麻疹、風疹、日本脳炎、ツ反・BCG、インフルエンザに関して一部異なる地域があるものの、ほぼ全県一致した接種料金が示された。これは、平成15年標準接種料金に消費税を上乗せしたものである。光市では、三種混合(¥7,717)、麻疹(¥9,103)、風疹(¥9,103)、ツ反(¥6,699)、BCG(¥9,093)、ツ反・BCG(¥13,902)
2. 広域予防接種の拡大対象・接種料金案  
日本脳炎 5,775(5,570)  
二種混合 5,659(4,348)  
予診のみ 再診料+消費税=1,606円 全員一致で承認された。

3. 予防接種請求支払い一括システム(案)について  
国保連合会が一括して支払いを請け負うという案が示されたが、手数料金が110～150円と高額なため、各市町村から反対意見が相次ぎ、今後の検討事項となった。本人の確認が市町村以外では取りにくいという事情も述べられた。
4. インフルエンザ予防接種の接種期間について  
広域における高齢者のインフルエンザ予防接種の接種期間は、平成16年も昨年同様、平成16年11月1日～平成16年2月末日で了承された。委託料金はシーズン前に発表される。
5. その他  
この予防接種広域化問題は当初市町村の方から県の医師会に要請のあった案件であることを木下副会長は強調されていた。  
その他、ポリオの広域化も進めて欲しいと要望が出された。  
インフルエンザは昨年予防接種が6万本余ったが、1医療機関1本の計算になる。

### 資料③郡市医師会長会議

日時:平成16年6月19日(土)15時～ 場所:山口県医師会 6F会議室

1. 卒業臨床研修制度に伴う研修医の対応について  
会費 郡市医師会 年間3,000円(山口大学医師会と同等にして欲しい)  
入会金なし  
山口県医師会 年間27,000円(3号会員)
2. 山口県医師会ドクターバンクの開設について  
経済の活性化、へき地等への派遣、他のバンクができるのと株式会社参入と同様になる為県医師会でもっておく。(ニーズもある)

### 資料④平成16年度光市学校保健会総会

日時 平成16年6月24日(木)13時30分～ 場所 光市総合福祉センター【あいぱーく光】

(議事)

- (1)平成15年慶事業報告及び決算報告
- (2)平成15年度会計監査報告
- (3)平成16年度役員選出
- (4)平成16年度事業計画(案)及び予算(案)
- (5)その他

(研修会)

- (1)「歯牙破折」について  
光井中学校学校歯科医 鈴木 秀紀 先生
- (2)「きず」の新しい治療法  
光井小学校学校医 平岡 博 先生

### 資料⑤周東地域産業保険センター運営協議会

日時 平成16年6月24日(木) 場所 下松医師会会議室

(議事事項)

- 1 武内会長挨拶
- 2 山口労働局労働基準部 一木地方労働衛生専門官挨拶
- 3 各委員自己紹介
- 4 議事
  - (1)平成15年度事業実施報告
  - (2)運営協議会会則の改訂について  
定期協議会開催を年2回から1回にする。(予算削減のため)  
会長が必要と認めたときは臨時協議会を開催する。
  - (3)平成16年度事業計画について  
予算削減(約50万円減)に伴いより効率的化をはかるために以下のように変更  
健康相談窓口の開設 23回(H15)から10回(H16)へ減  
個別訪問産業保険情報の提供 43回から40回へ減  
運営協議会の開催 2回から1回へ減  
産業保険事業説明会の開催 2回から6回へ増
  - (4)4月から6月事業計画および  
7月から9月事業実施計画(案)について

5 その他

(1) 団体傷害保険加入の件

free talking

せっかく職場健診を受けても異常を放置されている方が多く健康診断の事後処置として追跡調査も必要か  
場合によっては事業所に確認することが必要かと言う意見もあった。

III. 納涼懇親会

日時：平成16年7月21日（水） 19時～

場所：シエロ・ディマレー



IV. 学術講演会

「呼吸器感染症の臨床」



国立病院機構 山陽病院 内科  
副院長 竹山 博泰 先生

日時：平成16年7月27日（火） 19時～

場所：光市勤労者総合福祉センター

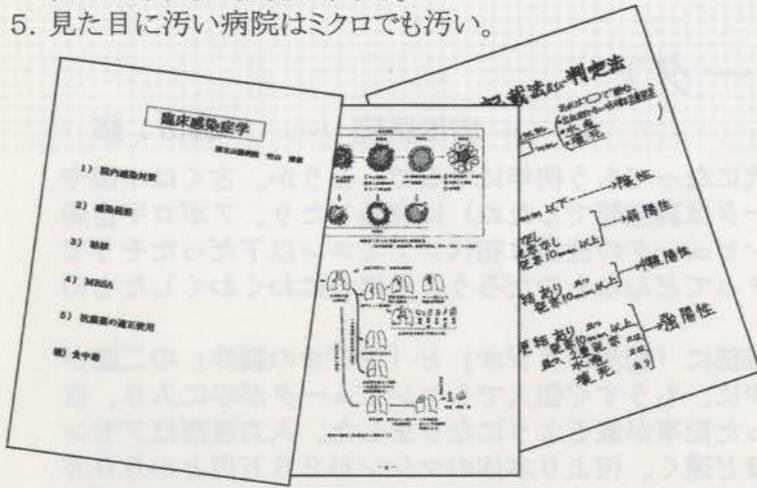
スライドを使わず、多くのプリントを用意され、軽快な口調で感染症について講義をして戴いた。特に結核に関しては非結核性抗酸菌症との鑑別など大いに勉強になった。  
詳しくは、頂いたプリントにあるが、数点、要約してみる。

- ①. 院内感染対策は避けて通れなくなっている。各病医院に独自の院内感染対策委員会を組織し、各病医院に特有の感染菌を把握し、EBMに基づき有効か無効かの対処をする。無効なものは削除し未定なものは削除しない。感染菌に対してはスタンダード・プリコーション(標準予防策)に準拠する、即ち人間の体から出る血液、体液など全てのものが未知の病原体を持っていて、感染の危険性があるというスタンスに立って対処する。感染経路の把握も重要である。
- ②. 飛沫感染は飛沫核(virus)が水分で覆われた飛沫の感染で、時間がたてば物にくっつたり、床に落下する。粒子が大きいのでふつうのマスクで防ぐことができるが、飛沫核感染(空気感染)は冷房、乾燥などで飛沫から水分がなくなった飛沫核が長く空中に浮遊しており、小さいのでN-95マスクでなければ防げない。
3. 東南アジア、インド、アフリカ、南米、南太平洋では結核が爆発的に増加、しかも多剤耐性菌が多い。

講師略歴

- s51 岡山大学医学部卒業
- 岡山大学第2内科学教室勤務
- s53 気管支肺胞洗浄法(BAL)研究
- s57～s60 米国クレイトン大学呼吸器病センター留学
- s61 国立岡山病院 呼吸器科医長
- H5 国立療養所山陽荘病院 副院長

- 4. 来年度からは結核予防法が変わる。乳幼児は生後六ヶ月迄にツ反せずBCG打つ、乳幼児及び小中学一年生に対するツ反廃止、など。
- 5. 見た目に汚い病院はマイクロでも汚い。



V. 高塚人志先生講演会

日時:平成16年7月30日(金) 19時～

場所:光市勤労者総合福祉センター

第1部 講演「人間回復の壮大なドラマ」

平成16年7月31日(土) 9時～12時

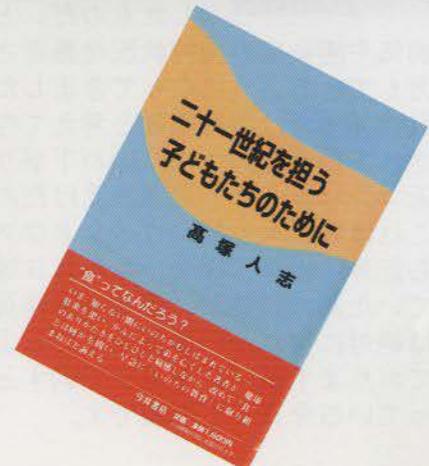
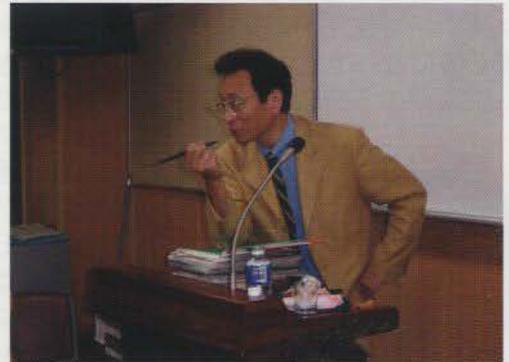
第2部 研修「すてきなあなたになるために」

13時～16時

第3部 研修「人間関係学研修」(接遇)

鳥取県立赤碕高校でレクリエーション指導授業を8年間にわたり取り組まれている高塚人志先生の、鬼気迫るお話を伺った。いじめ、暴力、不登校、排他的な若者行動、学級崩壊等、現代の社会問題の解決には、学校、教師、教育、家庭、地域といった個別な問題としてとらえては埒があかない、当事者である子供達自身の「人との良い関わり方」を身につけてもらうのが一番である。「人間関係学」が大事で、それは実践・経験から得られるものである。自分を認めて、相手も認める。言うはやすし、先生の実践力はすばらしいものがある。

卒業生に多くの師は「自分の意見をはっきり言えるような人間になって下さい」というが、高塚先生は「相手のことがわかるような人間になって下さい」と言われるそうである。



## リレー随筆

## 「私とコンピュータ」

広田医院

広田 修

コンピュータが日常生活に欠かせない時代になってもう何年になるのでしょうか。古くは小説や漫画（鉄腕アトムに描かれていたコンピュータは真空管でしたね）に登場したり、アポロ宇宙船に積み込まれたとの話（アポロ宇宙船のコンピュータの性能は初代ファミコン以下だったそうです）を様々な媒体で見聞きし、コンピュータってどんなものだろうと子供心にわくわくしたものでした。

今から30年前、小中学生向けの電気系雑誌に「初歩のラジオ」と「ラジオの製作」の二誌がありました。いつのころからかその雑誌の中に、もうすぐ個人でもコンピュータが手に入り、自分でもプログラムが組めるようになるといった記事が載るようになりました。入力言語はアセンブラとかC言語とかありましたが理解にはほど遠く、何より本体のマシンが25万円とか50万円とか、私の毎月のお小遣い3000円では三千世界の彼方の話でした。Apple「などは100万円に近かったような覚えがあります。

大学に入って写真部と軟式テニスに明け暮れてしばしその方面から離れておりましたが、友人がNECのPC9800シリーズを購入した頃から、遊びに行っては〇（サークル）を描く単純なプログラムなどを書いて喜んでおりましたが、それ以上には踏み込めませんでした。なぜなら本体、モニタで30～40万円以上し、やはり高値の花だったからです。

初めてキーボードものを購入したのはサンヨーのワープロでした。ちょうど4年生の時に西医体を主催することになり購入したものです。日本語表示が20文字で2行まで、できあがりにはプリントアウトしてみないと分からない、という代物でした。しかしこのワープロのおかげでキーボードの打ち方を覚えることができました。本来は一つのキーは決まった指で打つそうですが、自己流で修行した結果、現在に及んでも単語や文章によってキーを打つ指が違う、という有様になってしまいました。自己流と言えば、私の友人に未だに全てのキー操作を両の人差し指2本でこなすという人物がおります。

コンピュータを自力で購入したのは研修医2年目の春でした。今に続くマッキントッシュ人生の始まりです。第一号機はRAM4MB、ハードディスク100MBでした（「ハードが100MBもあれば一生使えます」と言われたのですが、現在では100MBではシステムを入れたら一杯一杯です）。インターネットなどは無く、パソコン通信（ほとんど文字だけの、今で言うメール通信の様なもの）の黎明期でしたが、通信速度が遅かったので電話代が随分嵩みました。今メインで使用しているのはRAM約800MB、ハードディスク60GBなので、一体何百倍、何千倍になったのでしょうか。たまに古い機械を動かしてみるのですが、今なら1秒もかからない作業が15分以上経って半分も進んでないのを見ると隔世の感が有ります。



以来デスクトップ5機種、ラップトップ2機種を乗り継いで今にいたっております。各機種とも、患者さん管理からレポート・図表の作成、学会のスライド作製などあらゆることに活躍してくれました。原稿を教授にメールで送り直接修正されて返ってきたり、予演会で試演をしながら訂正を入れたり、ひいては学会会場の廊下で修正したりする風景を見るようになり、恐ろしい時代になったものだと思います。先輩方からは「昔はスライド原稿を作って教授からダメ出しが出ると泣く泣く徹夜でレタリングを貼り直したものだ」と聞かされたものでしたが私には無縁の話でした。

病気や感染症の流行状況を患者さんに説明することなど、開業医ならではのコンピュータの使い方もできるようになってきました。ホームページ作製や電子カルテも興味が有るところですが、私の実力では実行困難と考えて今のところ手を出しかねております。医師会HPを管理・更新されている佃先生には頭が下がります。

最近コンピュータで恩恵を受けたのはなんと言っても昨年12月から導入したレセコンでしょう。これは我が人生初のウィンドウズ機です。手書き時代は月末の25日くらいから記号・番号、氏名、生年月日等の頭書から初めて月初めの7日くらいまで毎日何時間も費やしていたあの作業が、優秀な事務員のおかげでボタン一発数十分！になったのですから。もう元には絶対に戻れない体になってしまいました。今後はウィンドウズ機にも手を広げていこうと考えておりますが、レセコンで試すとえらいことになったら困るので、家内の目を盗んで新機種を狙っている今日、この頃です。



# 光医歯会ゴルフコンペ成績

## 光緑友会

平成16年5月23日

名前	OUT	IN	Gross	HC	Net	順位
兼清	49	47	96	11	85	10位
藤本	59	59	118	22	96	BB
竹中(智)	53	60	113	27	86	11位
平田	41	45	86	14	72	2位
藤村	49	45	94	10	84	6位
松村	62	59	121	28	93	16位
枇榔	53	54	107	23	84	8位
海永	43	47	90	13	77	4位
光武	45	49	94	12	82	5位
冬野	47	55	102	17	85	9位
諏訪	44	43	87	15	72	優勝
河崎	57	52	109	20	89	14位
守友	53	56	109	14	95	17位
森本	43	39	82	5	77	3位
竹中(博)	67	58	125	36	89	15位
南	60	73	133	23	110	BM
横山	45	49	94	10	84	7位
赤崎	53	49	102	14	88	13位
守田	52	51	103	15	88	12位

## 光緑友会

平成16年7月11日

名前	IN	OUT	Gross	HC	Net	順位
南 典文	60	51	111	23	88	11位
前田 昇一	49	48	97	14	83	8位
守友 康則	54	48	102	14	88	12位
諏訪 高志	44	42	86	12	74	優勝
松村 寿太郎	55	59	114	28	86	10位
竹中 智昭	51	53	104	27	77	6位
冬野 幾久男	54	54	108	17	91	BM
河崎 要助	46	49	95	20	75	準優勝
藤村 朴	53	48	101	10	91	BB
守田 忠正	45	46	91	15	76	3位
海永 泰男	49	41	90	13	77	4位
兼清 照久	46	45	91	11	80	7位
森本 博士	47	41	88	5	83	9位
平田 万三志	44	47	91	14	77	5位
久保田 肇OB	56	47	103	-	-	-

次回より 諏訪Hc 15→12

- DC ⑤森本 ⑦森本  
 NP ④竹中(智) ⑧横山 ⑩海永 ⑫赤崎  
 ドラ短 ⑤枇榔 ⑦南

次回より 諏訪Hc 12→9

- DC ⑦海永 ②守友  
 NP ⑪平田 ④河崎 ⑧森本  
 ドラ短 ⑦守友 ②河崎  
 BG 諏訪

### ホームページだより

今回は医師会のホームページやその使い方についてお知らせします。  
 県の医師会には医師会ホームページのリンク1(医療関係)から山口県医師会をクリックすると繋がります。県医師会報を見るにはPDF形式でacrobat readerが必要です。その他研修会日程や医療廃棄物事務連絡等いろいろ記載されています。トピックスとしては「健康保険組合による診療報酬の審査・支払いに反対します」のキャンペーンがあります。  
 それから日本医師会や日本医師会総合政策研究機構も覗いてみてはいかがでしょうか。いろいろ情報が満載です。日本医師会のメンバーズルームに入るにはそのホームページから右上の「メンバーズルーム」をクリックしてユーザー名が10桁の数字、パスワードが6桁の数字、日本医師会雑誌の宛名のところに書いてある数字です。これを入れますと入ることが出来ます。そこには医療行政に絡む最新情報が適宜更新されて載せられています。ここでは日医の基本的な姿勢が理解できます。是非、一度目を通されることを希望します。(佃 理事)

山口県光市 佃医院  
 佃 邦夫<l\_w@ms10.megaegg.ne.jp>



## 県の行事予定(8月)

月日	曜日	県医師会行事・同関連行事	備考
31~8/1日	土・日	全国有床診療所協議会「札幌」	佐々木
8月 1日	日		
2日	月		
3日	火	山口県配偶者暴力相談支援連絡協議会「県庁」 (13:30)	
		都道府県医師会会長協議会「日医」 (14:00)	藤原
		世界医師会(WMA)東京総会組織委員会 (16:00)	藤原
4日	水		
8月 5日	木	難病相談・支援センターに関する意見聴取 (13:30)	木下
		健康やまぐち21推進協議会「食育・食生活分科会」 (14:00)	杉山
		編集委員会 (15:00)	
		健康スポーツ医学委員会 (15:00)	
		山口県消化器がん検診研究会研修会「山口グランド新館」 (15:00)	
		第7回理事会 (17:00)	
6日	金		
7日	土		
8日	日	宇部看護専門学校創立50周年記念式典「全日空ホテル」 (15:00)	藤原
9日	月		
10日	火	山口県医療審議会保健医療計画部会「県庁」 (13:30)	木下
11日	水		
12日	木	医事紛争対策委員会 (15:00)	
		郡市救急医療担当理事協議会 (15:00)	
		個別指導「山口地区」 (14:00)	西村 萬
13日	金		
14日	土		
15日	日		
16日	月		
17日	火		
18日	水	日医社会保険診療報酬検討委員会 (14:00)	藤原
18~21日	水・土	社保審査委員会	
19日	木	社保国保審査委員合同協議会	
		山口県周産期医療協議会「県庁」 (14:00)	藤野俊夫
20日	金		
21日	土		
22日	日	中国地区学校医大会	藤原 濱本 杉山
		中国四国学校保健担当理事協議会	濱本 杉山
23日	月	二次医療圏座談会(周南圏域)「徳山医師会館」 (19:00)	上田 木下 吉本 佐々木
24日	火		
25日	水	山口県国保連合会介護給付費審査委員会 (13:30)	佐々木
25~26日	水・木	第48回社会保険指導者講習会	上田 西村 濱本 湧田 萬
26日	木	郡市地域医療計画担当理事協議会 (15:00)	
		第4回常任理事会 (17:00)	
27日	金		
28日	土	萩看護学院50周年記念式典 (15:00)	西村
29日	日	第111回日医臨時代議員会 (9:30)	藤原 上田 木下 三浦 吉本
		山口県内科医学会	
30日	月		
31日	火		

## 連絡事項

受付 月	日	発送番号	通達文書名
		山口県医師連盟	選挙取り纏め報告 期日前投票者数
		山医連発9	医師連盟執行委員会の開催について
		山医保発46	組合員の市町村民税標準額の調査について
	2	下松医師会	第110回周南医学会(ご案内)
	6	山消検11	第37回山口県消化器かん検診講習会の開催について
		山医発265	「結核医療の基準」の一部改正について
	8	山口県保険医協会	第33回定期総会・第11回代議員会のご案内
		山口県医師会	使用薬剤の薬価(薬価基準)の一部改正に伴う留意事項について
		党選対本部	党支持者の投票促進活動について
	10	光社協16	2004 ふれあい・健康・フェスティバルのご協賛について(お願い)
		山医発273	第12回ノハルティス地域医療賞候補者募集について
		山医発272	「第33回医療功労賞」候補者推薦のお願い
		内科医会学会	第42回山口県内科医会学会並びに総会開催のご案内
	12	山口県医師連盟	参議院議員選挙のお礼
	14	山医発278	広告か可能な医師の専門性に関する四角名等について
		山医発279	非医療従事者による自動対外式除細動器(AED)の使用について
	15	山口県医師会	腸管出血性大腸菌のO121感染症事例の発生について
		事務連絡	第88回山口県医師会生涯研修セミナーの出席者名簿・参加証送付について
		山医発285	郡市医師会 救急医療担当事協議会の開催について
		山口県医師会	使用薬剤の薬価(薬価基準)等の一部改正について
	16	山医保54	健康テキスト等の送付について
	22	山口県医師連盟	二井関成候補の遊説日程について
		山口県医師会	診療報酬請求書等の記載要領通知等の一部訂正及び厚生労働省「疑義解釈資料」の送付について
	24	山医発296	「労働者の疲労蓄積度自己診断チェックリスト」の送付について
		山医発295	「山口スポーツ医科学サポートプログラム」の送付について
		山口県医師会	使用薬剤の薬価(薬価基準)等の一部改正について
	27	山医保発59	健康診断の実施について
	29	山医発307	平成16年度「救急の日」及び「救急医療週間」の実施について
	31	山内医発10	第75回郡市内科医会会長会議の開催について
		山医発315	医師会における「健康日本21」の取り組みと評価についての調査について
		山医発312	第17回(平成16年度)健康スポーツ医学講習会の開催について
		山医発305	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律施行例の一部を改正する政令の公布等について
		山医発309	第2回広域予防接種運営協議会の開催について

## 7月休日当番医報告

	内科系	外科系
7/4(日)	18	7
11(日)	17	6
18(日)	24	23
19(月)	30	12
25(日)	16	11



更新記事

記事名	掲載頁	計 画	
		頁	頁
アパロシロ島の医療従事者の実情	10	1	1
鳥取県医師会 会報本誌「ほろろ」	11		
アパロシロ島の医療従事者の実情	12		
アパロシロ島の医療従事者の実情	13		
アパロシロ島の医療従事者の実情	14		
アパロシロ島の医療従事者の実情	15		
アパロシロ島の医療従事者の実情	16		
アパロシロ島の医療従事者の実情	17		
アパロシロ島の医療従事者の実情	18		
アパロシロ島の医療従事者の実情	19		
アパロシロ島の医療従事者の実情	20		
アパロシロ島の医療従事者の実情	21		
アパロシロ島の医療従事者の実情	22		
アパロシロ島の医療従事者の実情	23		
アパロシロ島の医療従事者の実情	24		
アパロシロ島の医療従事者の実情	25		
アパロシロ島の医療従事者の実情	26		
アパロシロ島の医療従事者の実情	27		
アパロシロ島の医療従事者の実情	28		
アパロシロ島の医療従事者の実情	29		
アパロシロ島の医療従事者の実情	30		
アパロシロ島の医療従事者の実情	31		
アパロシロ島の医療従事者の実情	32		
アパロシロ島の医療従事者の実情	33		
アパロシロ島の医療従事者の実情	34		
アパロシロ島の医療従事者の実情	35		
アパロシロ島の医療従事者の実情	36		
アパロシロ島の医療従事者の実情	37		
アパロシロ島の医療従事者の実情	38		
アパロシロ島の医療従事者の実情	39		
アパロシロ島の医療従事者の実情	40		
アパロシロ島の医療従事者の実情	41		
アパロシロ島の医療従事者の実情	42		
アパロシロ島の医療従事者の実情	43		
アパロシロ島の医療従事者の実情	44		
アパロシロ島の医療従事者の実情	45		
アパロシロ島の医療従事者の実情	46		
アパロシロ島の医療従事者の実情	47		
アパロシロ島の医療従事者の実情	48		
アパロシロ島の医療従事者の実情	49		
アパロシロ島の医療従事者の実情	50		

あ と が き

参議院選も終わりました。西島先生は当選されました。目標得票数にはとっておく及びませんでした。光市 139 票で下松の 138 票を抜いていました、うれしいことです。

今月号から、全て自前自作の会報となりました、不備な点多々あると思いますが、ご意見・ご叱責など、医師会事務局の方へご連絡頂ければ幸いに存じます。

毎号原稿執筆を戴いている先生方には心から感謝申し上げます。今月も、藤村先生、奥深いお話ありがとうございました。広田先生、コンピュータ遍歴のお話は私も同感で、楽しく読ませて頂きました。

来月もよろしく願いいたします。

発行所	光市医師会 TEL (0833) 72-2234
発行日	平成 16 年 8 月 10 日
発行者	河村康明
編集者	広報担当
印刷所	光市光井一丁目 15 番 20 号 中村印刷株式会社